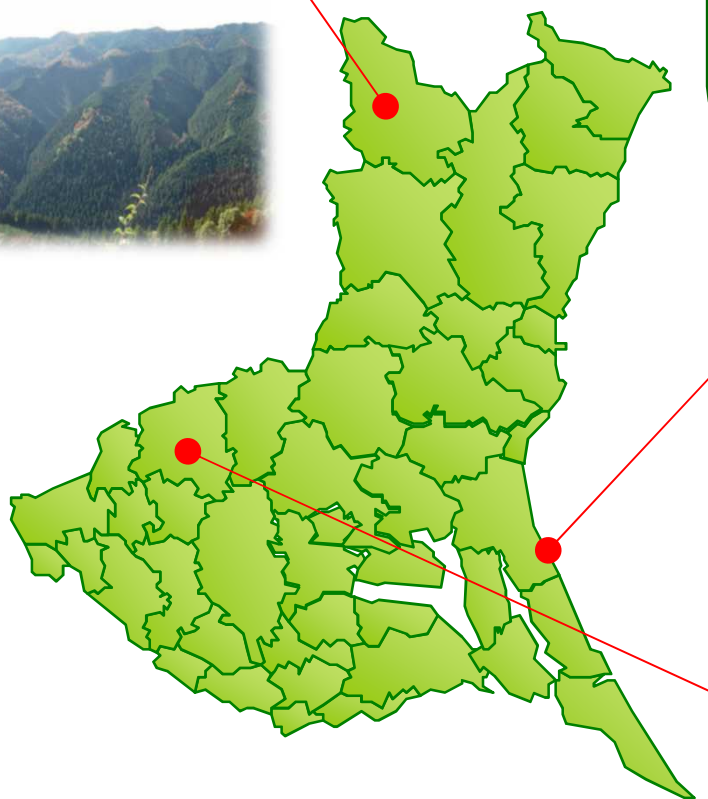


茨城県の森林

山岳林

八溝山周辺の森林（大子町）

- ・スギ、ヒノキ等の人工林が多い
- ・木材を生産する林業が盛ん



■ 県土面積：約61万ha

■ 森林面積：約18万7千ha

うち民有林：約14万2千ha

国有林：約 4万5千ha

民有林の人工林のうち約8割が11齢級（51年生）以上であり、本格的な利用期へ

海岸林

（銚田市）

- ・海岸の松林
：潮風や飛砂を防ぐ



平地林

（筑西市）

- ・クヌギ・コナラ等の
広葉樹



林業職の仕事

- 森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、「伐って、使って、植えて、育てる」、いわゆる**森林資源の循環利用**を進めることが必要。
- 『第2次茨城県総合計画』に掲げた**「林業の成長産業化と未来の担い手づくり」の実現**に向け、**「林業経営の自立化」、「県産木材の利用促進と木材産業の発展」、「機能豊かな森林づくり」**の3つの柱により施策を推進。

1 林業経営の自立化

- ・ 単独では経営が困難な森林について、**経営規模の拡大に取り組む林業経営体に集約**
- ・ 人工林を伐採した後の**再造林**や**高性能林業機械の導入**、**林道の整備等**に対する支援
- ・ **担い手の確保・育成**

【再造林】



【間伐】



【高性能林業機械】



林業職の仕事

2 県産木材の利用促進と木材産業の発展

- ・ 住宅及び非住宅分野（大規模・中高層建築物等）における県産木材の利用促進
- ・ 県産木材の供給体制整備
（素材生産業者、製材業者、設計・工務店等の関係者による効率的なサプライチェーン構築）



3 機能豊かな森林づくりの推進

- ・ 治山工事の実施による災害防止
- ・ 海岸防災林の公益的機能強化（薬剤散布や被害木の伐倒処理）
- ・ 県自然観察施設の管理運営や森林・林業体験学習の実施

⇒ 県植物園のリニューアル（2025.11.29）

【コンセプト】緑に遊び、緑に包まれて眠る、日本初の泊まれる体験型植物園



森林湖沼環境税

○ 茨城県では、森林や湖沼・河川を県民共有の財産として良好な状態で次世代に引き継ぐため、「森林湖沼環境税」を平成20年度に導入。

⇒ 森林の保全・整備や湖沼・河川の水質保全に活用

【森林湖沼環境税の活用事例（森林の保全・整備）】



人工林伐採後の再造林



海岸防災林への広葉樹等の植栽



コンテナ苗生産に係る技術改良



建築物の木造化・木質化



森林・林業に関する体験学習



等

県植物園リニューアル (2025.11.29)

○ 施設愛称：THE BOTANICAL RESORT 「林音」 (RINNE)

【基本コンセプト】

「緑に遊び、緑に包まれて眠る、日本初の泊まれる体験型植物園」

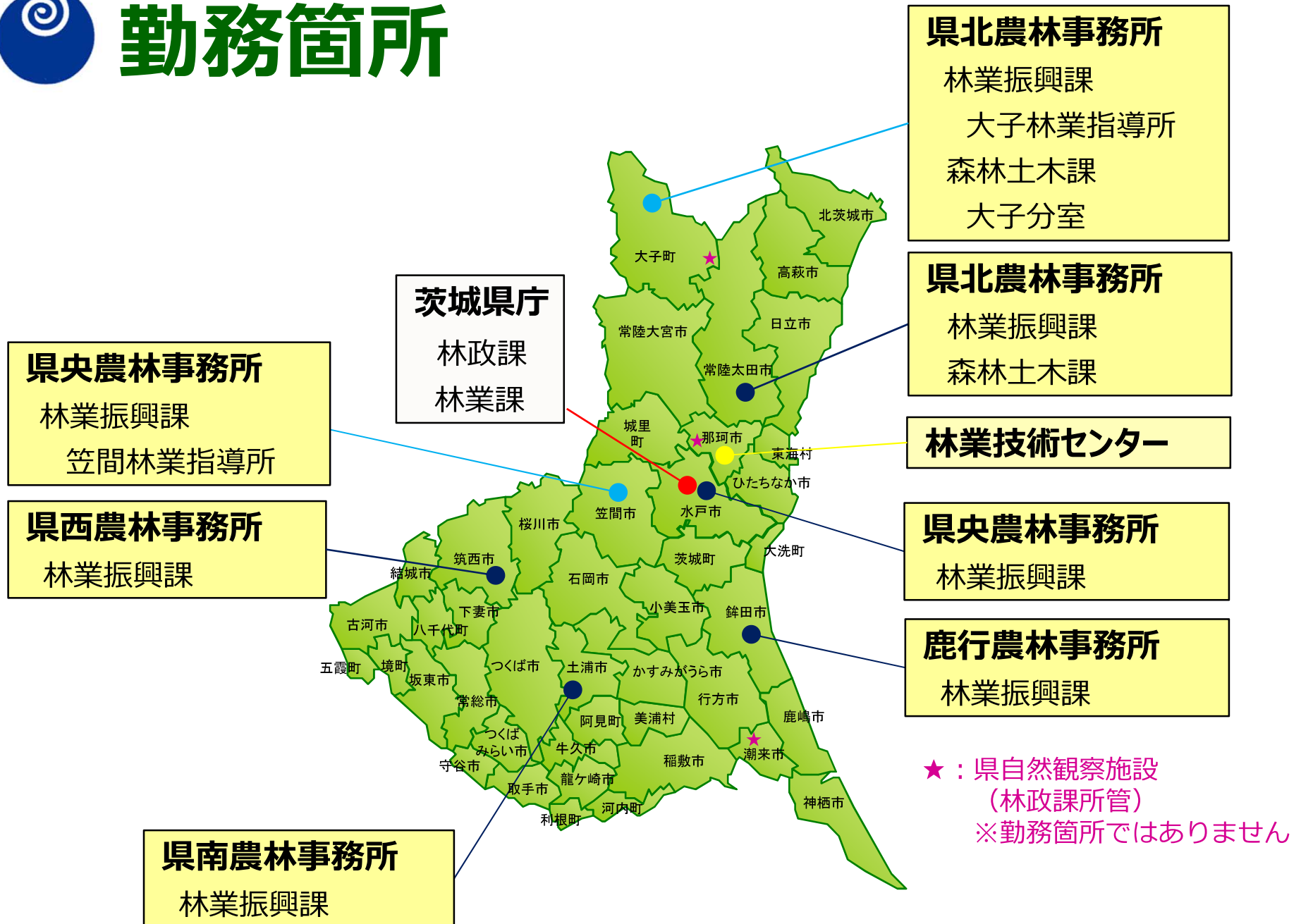
- ・ 日本で唯一の「泊まれる植物園」
- ・ 日帰り・宿泊に対応した新しいリゾートへ再生
- ・ 自然を感じながら、植物を学び・親しみながら、大人も子供も楽しい植物園に



- 施設設備：宿泊施設（コテージ・グランピング）、温浴施設、レストラン等
- アクティビティ：ツリーアドベンチャー、ARシューティング等



勤務箇所



◎先輩からのメッセージ



茨城県を志望した理由

大学では地球温暖化に興味を持ち、温室効果ガスの排出量が少ない土壌微生物の研究を行っていました。

霞ヶ浦の水質を研究する研究室でもあったため、川や海へつながる森林の整備に携わりたいと考え、大学3年生の時に林政課でインターンシップをしたのが、林業職で受験するきっかけとなりました。

やりがいを感じた時

入庁2年目のとき、県内全市町村における森林の土地の所有者や林地の境界に関する情報等を整備・公表する林地台帳制度が新設され、新しい森林ネットワークシステムを構築して市町村と共有することとなりました。情報システムに関する知識も必要だったので苦労しましたが、全国でも先進的な取り組みだったので、非常にやりがいを感じました。

皆さんへのメッセージ

森林は、住宅や家具などに使用される木材を生産するほか、洪水や土砂崩れなどの自然災害を防ぐとともに、海岸松林は防風効果や飛砂防止、津波の減災効果があり、県民の生活を守っている、誇れる仕事です。技術や知識を活かし、少数精鋭で輝ける林業の仕事を一緒にやりませんか。

◎先輩からのメッセージ



茨城県を志望した理由

大学で生態学や森林科学について学ぶ中で林業という仕事に興味を持ち、住み慣れた茨城県の森林や豊かな自然を守る仕事がしたいと考え、林業職を志望しました。

仕事をする上で大切にしていること

前向きに意欲をもって仕事ができるよう、オンとオフのメリハリをつけ、プライベートの時間も大事にすることが大切だと思います。

県に入る前のイメージとのギャップ

「林業」という職種について、入庁前は造林・間伐などの木に関わる仕事のイメージしか持っていませんでした。しかし、実際に業務をしてみると、きのこやタケノコなどの生産振興、土砂崩れなどの災害を未然防止するための工事の発注など、業務は多岐にわたっていて、幅広い視点で「林業」を支えていく大切さを感じました。

皆さんへのメッセージ

林業職には、最初から専門知識や技術が求められるイメージを持つ方もいると思います。私自身も入庁前はその点が最も不安でした。しかし、日々の業務の中で教えてくれる先輩、支えてくれる上司が必ずいます。働きながら林業の魅力に触れ、スキルアップしながら一緒に頑張りましょう。